

# IIDA SHINKIN BANK HOTLINE 2025

——  
ディスクロージャー誌

飯田信用金庫の現況

# ごあいさつ

平素は飯田信用金庫をご愛顧賜り、誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。  
みなさま方に、当金庫の業績をより良くご理解いただくため、今年もディスクロージャー誌「HOTLINE（ホットライン）2025」を作成いたしました。本冊子をご高覧いただき、私どもの現在の姿をご賢察いただければ幸いです。

さて、令和6年度の日本経済は、回復基調が見られたものの、国際情勢の変動や物価高の影響を受け、先行き不透明な状況が続いております。また、日本銀行のマイナス金利政策の解除により、金融市場の動向や企業の資金調達環境は大きな変化を迎えており、地域金融機関として果たすべき役割はより一層重要になっていると考えております。

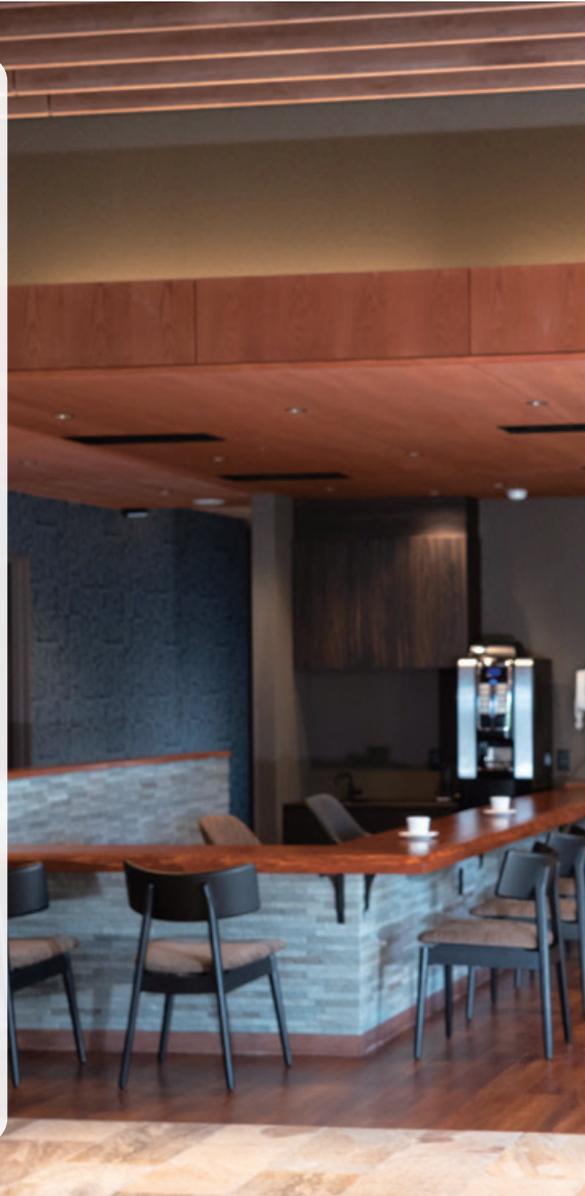
こうした環境の中、当金庫は令和7年度に創立100周年を迎えます。この100年間、地域のみなさまとともに歩んでこられたことは、私たちの誇りであり、みなさまの支えがあったからこそその歴史であると深く感謝しております。この節目を迎えるにあたり、改めて初心を忘れず、信用金庫としての本質的な価値を追求しながら、地域社会に貢献する金融機関として進化を続けてまいります。

令和7年5月には100周年事業の一環として、コミュニケーションプラットフォーム拠点「しんきんプラザ みらとも」をオープンしました。この施設にはカフェスペースを設け、様々な相談や情報交換ができるよう個室ブースやフリースペースを設置しております。各種セミナー開催も予定しており、地域のみなさまが集い、学び、交流できる場所となることを目指しております。単なる金融サービス提供の場ではなく、「人」と「情報」をつなぎ、地域の明るい未来をともにつくる場となるよう努力してまいります。

引き続き、デジタル技術の活用はじめ、利便性の向上に努めるとともに、地域金融機関らしい温かい対応を大切にし、お客さまの暮らしや事業のお役に立てる金融機関であり続けるよう、役職員一同、一層の努力を重ねてまいります。

これからも、地域とともに歩み、みなさまの信頼に応えるべく、邁進してまいりますので、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 **宮嶋 徹**



## 経営方針

### [ 経営理念 ]

# 地域の明るい未来を ともにつくる

### [ 行動指針 ]

- 地域のために力を尽くす
- つながりを大切にする
- 健全な経営に努める
- 明るく働きやすい職場をつくる

飯田信用金庫は令和7年9月1日に  
**創立100周年**を迎えます

おかげさまで  
100周年。  
これからも地域の  
みなさまとともに。



飯田信用金庫



# CONTENTS 2025

## ごあいさつ

- 第10次中期経営計画 ..... 3
- 「しんきんプラザ みらとも」 ..... 4
- 業績ハイライト ..... 5
- トピックス ..... 7
- 主な商品・サービス一覧 ..... 9
- 地域貢献表彰「SPARC(スパーク)」 ..... 10
- 中小企業の経営支援および  
地域活性化のための取り組み ..... 11
- 総代会制度 ..... 13
- 店舗一覧・所在地地図 ..... 15
- 役員一覧・組織図 ..... 17
- 環境への取り組み ..... 18
- SDGsへの取り組み ..... 裏表紙

## 飯田信用金庫の決算状況

資料編(財務諸表)については  
当金庫WEBサイトをご覧ください。



## 飯田信用金庫の概要

令和7年3月31日現在

名 称 : 飯田信用金庫  
 本店所在地 : 長野県飯田市本町一丁目2番地  
 創 立 : 大正14年9月  
 店 舗 数 : 23店舗  
 出 資 金 : 10億1百万円  
 会 員 数 : 25,942人  
 常勤役員数 : 350人  
 預 金 : 6,128億59百万円  
 貸 出 金 : 2,675億87百万円  
 有 価 証 券 : 3,199億26百万円

## 当金庫の主な事業

### ● 預金業務

当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、譲渡性預金等

### ● 貸出業務

手形貸付、証書貸付、当座貸越、手形の割引（でんさい割引含む）

### ● 為替業務

内国為替業務、外国為替業務

### ● 証券業務

有価証券投資業務、公共債の引受・販売、私募債の引受、投資信託の販売等

### ● 保険募集業務

年金保険、終身保険、がん保険、医療保険、火災保険、傷害保険等

### ● 代理業務

日本銀行、日本政策金融公庫、信金中央金庫、住宅金融支援機構等

### ● その他

債務保証、貸金庫業務、公金取扱業務、電子債権記録業に係る業務、確定拠出年金業務、企業等の経営改善支援、信託契約代理店業務等

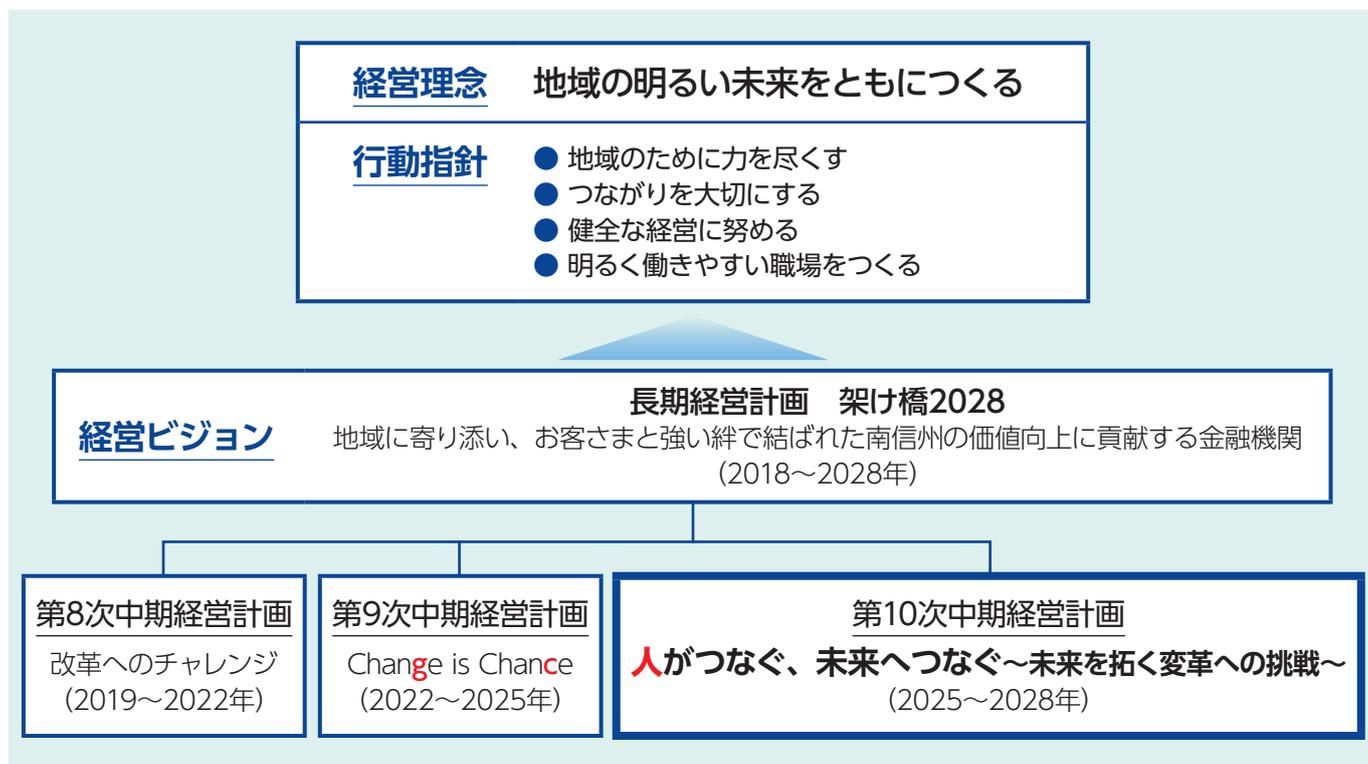
# 第10次中期経営計画 (2025年4月～2028年3月)

## 架け橋2028 Third Stage

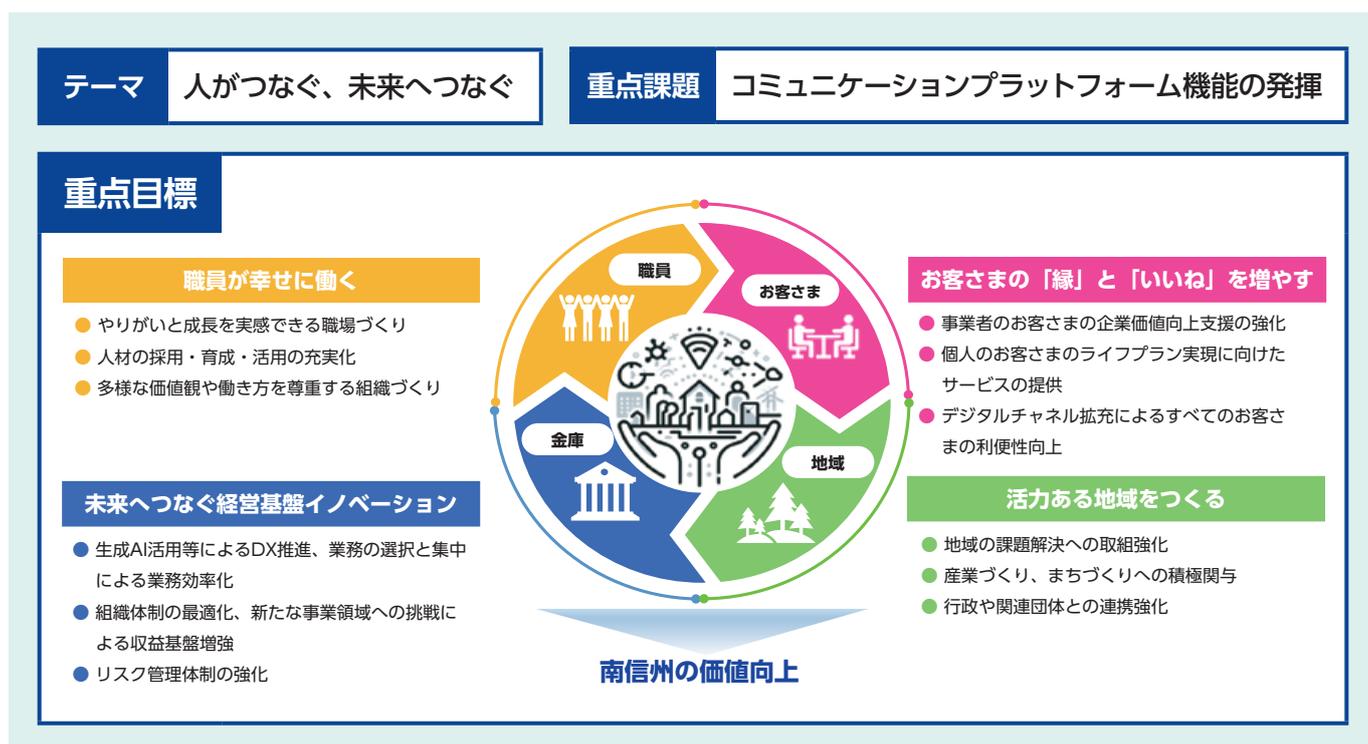
「人がつなぐ、未来へつなぐ」 ～未来を拓く変革への挑戦～

第10次中期経営計画ではお客さまや地域が必要とする「情報」が今まで以上に当金庫に集まり、蓄積する仕組みを構築し、お客さまや地域に対する「情報」発信力・課題解決能力をさらに高めることで、お客さまにこれからも必要とされ、地域に無くてはならない存在となることで、2028年のありたい姿である経営ビジョン「地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関」を実現します。

### 第10次中期経営計画の位置づけ



### 第10次中期経営計画の全体像



## 第10次中期経営計画の概要

主要項目	主な内容
名称	架け橋2028 Third Stage 「人がつなぐ、未来へつなぐ」～未来を拓く変革への挑戦～
期間	2025年4月1日～2028年3月31日
テーマ	人がつなぐ、未来へつなぐ
重点課題	コミュニケーションプラットフォーム機能の発揮
重点目標	<職員> 職員が幸せに働く <お客さま> お客さまの「縁」と「いいね」を増やす <地域> 活力ある地域をつくる <金庫> 未来へつなぐ経営基盤イノベーション

## 重点目標に対する総合KPI

重点目標	総合KPI	2028年3月末
<職員> 職員が幸せに働く	・エンゲージメント調査における改善率（2025年度比） ・シニア人材・外部出向経験者数	3% 15人
<お客さま> お客さまの「縁」と「いいね」を増やす	・IT・DX・創業・事業承継・M&A・PMI支援件数 ・「しんきんプラザみらとも」各種相談受付件数	530件 2,000件
<地域> 活力ある地域をつくる	・私募債（SDGs型、グリーン型）累計寄付額 ・PFIを活用した事業提案件数	3百万円 3件
<金庫> 未来へつなぐ経営基盤イノベーション	・コア業務純益（投信解約損益除く） ・生成AI活用、DX推進等による業務削減時間	30億円 10,000時間

## しんきんプラザ みらとも

令和7年5月7日(水)に当金庫創立100周年事業の一環として、「地域のお客さまの幅広い悩みや課題を解決するためのランドマーク」をコンセプトとした、コミュニケーションプラットフォーム拠点「しんきんプラザ みらとも」をオープンしました。

地域のみなさまに気軽に立ち寄りいただけるよう店内にはカフェスペースを設け、様々な相談や情報交換ができるよう個室ブースやフリースペース等も設置しております。

教育・文化・医療・介護・福祉等金融に限らず幅広い分野でのセミナー開催も行っていく予定であり、地域のコミュニケーション拠点を目指しております。



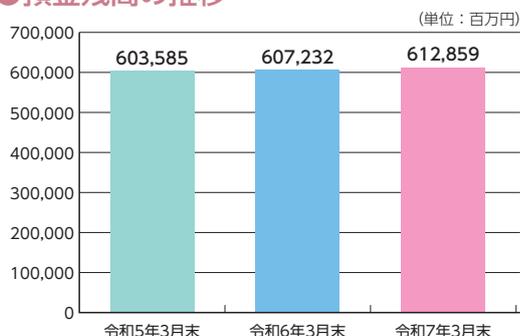
# 業績ハイライト

地域のみなさまのご支援により、預金、融資、収益等の各部門で、次のような業績をあげることができました。

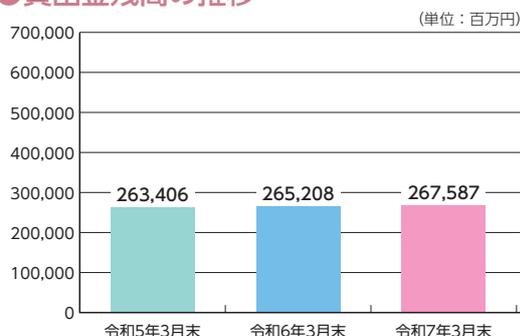
## 業績は堅調を維持しています。

### ■預金・貸出金の状況

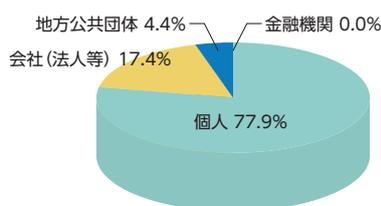
#### ●預金残高の推移



#### ●貸出金残高の推移

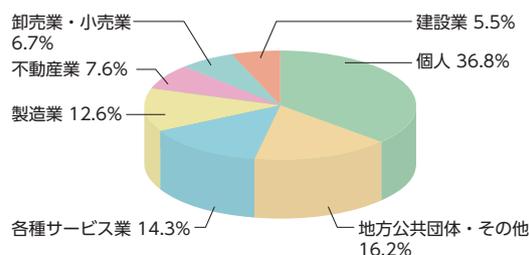


#### ●預金者別構成比



▶預金積金残高 **6,128億円**

#### ●貸出先別構成比



▶貸出金残高 **2,675億円** ▶預貸率(注) **43.6%**

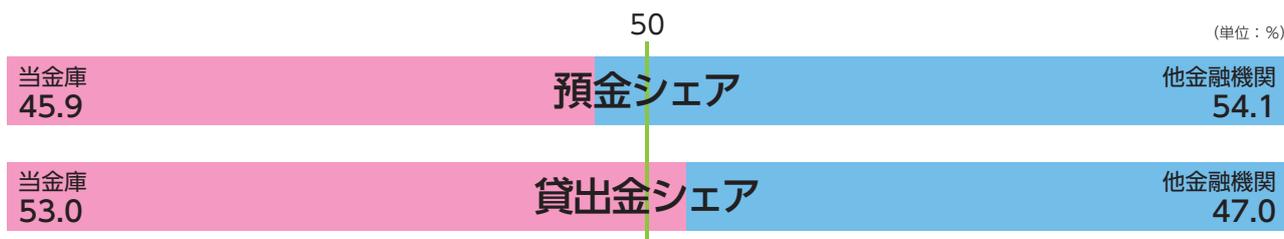
(注) 預金の残高に対する貸出金の残高の割合を預貸率といいます。

預金の期末残高は、前期末比56億27百万円、0.92%増加し、6,128億59百万円となり、増加額、増加率ともに堅調に推移しました。個人預金は、期間限定定期預金を発売したことなどにより、0.79%増加、法人預金等は、1.41%増加しました。

貸出金の期末残高は、前期末比23億79百万円、0.89%増加し、2,675億87百万円となり、増加額、増加率ともに堅調に推移しました。個人向け貸出金は、住宅資金需要の堅調な伸びを背景に、2.73%増加しました。

## 地区内シェアはNo.1。

### ■地区内シェアの状況



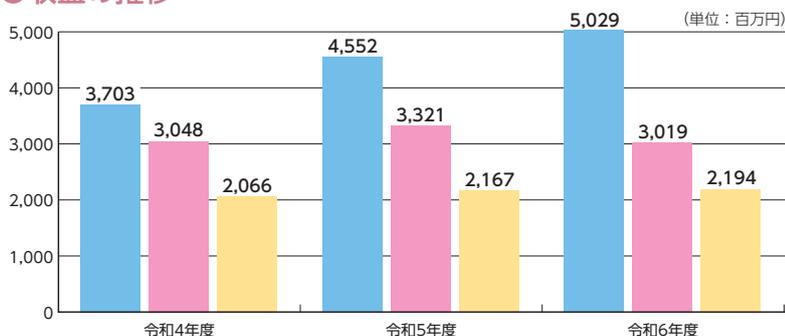
地域のみなさまから厚い信頼をいただき、当金庫の主要営業地区である飯田・下伊那の金融機関(ゆうちょ銀行を除く)内における預金残高シェアは45.9%、貸出金残高シェアは53.0%となっています。(みなみ信州農協は2月末、その他の金融機関は3月末の残高による比較) ※他金融機関は、飯田下伊那地区内の銀行、信用組合、農協における預金、貸出金の合計

# 安定した収益を堅持しています。

## ■収益の状況

■ コア業務純益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益

### ●収益の推移



預金利息や経費が増加しましたが、貸出金利息や有価証券利息収入の増加が上回り、コア業務純益は増益となりました。また、有価証券ポートフォリオの見直しによる売却損の計上などにより経常利益は減益となりましたが、税金費用の減少により当期純利益は増益となり、いずれも目標を上回りました。

# 有価証券の含み益は196億円。

## ■有価証券の状況

### ●保有有価証券の時価情報

(単位：百万円)

		取得原価	時 価	評価差額
保有 有価証券	株 式	8,130	18,391	10,260
	債 券	253,005	248,154	△4,851
	その他	39,119	53,381	14,261
合 計		300,255	319,926	19,670

お客さまからお預かりした預金のうち、貸出金に回らない資金は主に有価証券にて運用しています。堅実な資金運用と運用資産の健全化に取り組んだ結果、当期末の有価証券の含み益は196億円となりました。これは、信用金庫業界トップクラスの水準です。

# 自己資本の額は713億円。

## ■自己資本比率(単体)

### ●自己資本の額・自己資本比率の推移

自己資本の額は、当期純利益21億94百万円を計上したことなどから、前期末比3.39%増加し713億21百万円となりました。

一方、リスク・アセットは、「バーゼルⅢ最終化」と呼ばれるリスク計測手法の見直しの影響はありましたが、前期末比2.71%の増加にとどまりました。

この結果、当期末の自己資本比率は、前期末の20.83%から0.13ポイント上昇し20.96%となりました。

引き続き国内基準(4%以上)を大きく上回っており、高い健全性を維持しています。

